

## ゴンザレス司法長官、知財を語る

2006年6月21日

JETRO NY 澤井

20日、ゴンザレス司法長官は、米商工会議所(於ワシントン DC)にて、知的財産に関するスピーチを行った。

司法長官は、この席で、まず知的財産侵害が米国の雇用や研究開発、輸送や医薬の安全を脅かしているとした上、知財担当の検察官の増員や省内知的財産タスクフォースの設置等の司法省の取り組みを紹介。併せて、STOP!イニシアティブや模倣品対策法(HR32)の成立(3月)<sup>1</sup>など、現政権や議会のこれまでの動きを伝えている。

また、つい先週のこととして、最大級の海賊版ソフトウェア・オンライン販売業者とされる Danny Ferrer 容疑者が、著作権侵害の罪を認めたことを、同容疑者の不当利得による裕福な生活と共に紹介している。同様に先週(15, 16日)の G8 内相・司法相会合(於モスクワ)にも触れ、各国代表とともに知的財産保護による国際的な取り組みについて議論をしてきたとしている。

最後に、司法長官は、若い聴衆との対話を通じ、知的財産を尊重する社会の構築が重要であることを認識したとして、米国特許商標庁(USPTO)とともに、教員や学生向けの知的財産啓発事業のために、今後3年間90万ドルの予算をコミットしたと紹介。建国の父たちにより起草された米国憲法における知財保護の一文<sup>2</sup>やリンカーンの言葉<sup>3</sup>を引用しつつ、スピーチを結んでいる。

< 参考 > ゴンザレス司法長官発言録

[http://www.usdoj.gov/ag/speeches/2006/ag\\_speech\\_0606201.html](http://www.usdoj.gov/ag/speeches/2006/ag_speech_0606201.html)

(了)

---

<sup>1</sup> 2006年3月17日付け知財ニュース「模倣品対策関連法案(H.R.32)が成立」を参照。

<sup>2</sup> 合衆国憲法Section 8. Powers of Congress

「To promote the progress of science and useful arts, by securing for limited times to authors and inventors the exclusive right to their respective writings and discoveries」

<sup>3</sup> リンカーンの言葉「The patent system added the fuel of interest to the fire of genius」